



令和7年12月15日
時点



令和7年度採択事業

カイト株式会社

シニア向けSNSサービス『おしるこ』の活用による
高齢者の社会的フレイル抑制効果に関する研究事業

- 日本は超高齢社会の進展に伴い、高齢者の孤独・孤立、フレイル、認知機能低下など複合的な課題が深刻化しています。
- 国内研究によれば、社会的フレイルの高齢者は6年間の追跡で約40.1%が要介護・死亡に至り、健康高齢者の28.5%と比べ大幅に高いリスクが報告されていることから、孤独や孤立を軽減し健康リスクを下げる「社会的処方」の仕組みづくりが急務です。
- そこで、シニア向けSNSサービス『おしるこ』を活用して、デジタルコミュニケーションを介した行動変容（交流・外出・参加）の積み上げを通じ、社会的フレイルの進行抑制に資するかを検証を行います。

(1) 実証事業者：カイト株式会社

(2) テーマ名：シニア向けSNSサービス『おしるこ』の活用による
高齢者の社会的フレイル抑制効果に関する研究事業

(3) 対象となる未病領域：健康に関する意識・行動変容、フレイル

(4) 実施期間：令和7年12月から令和8年3月（予定）

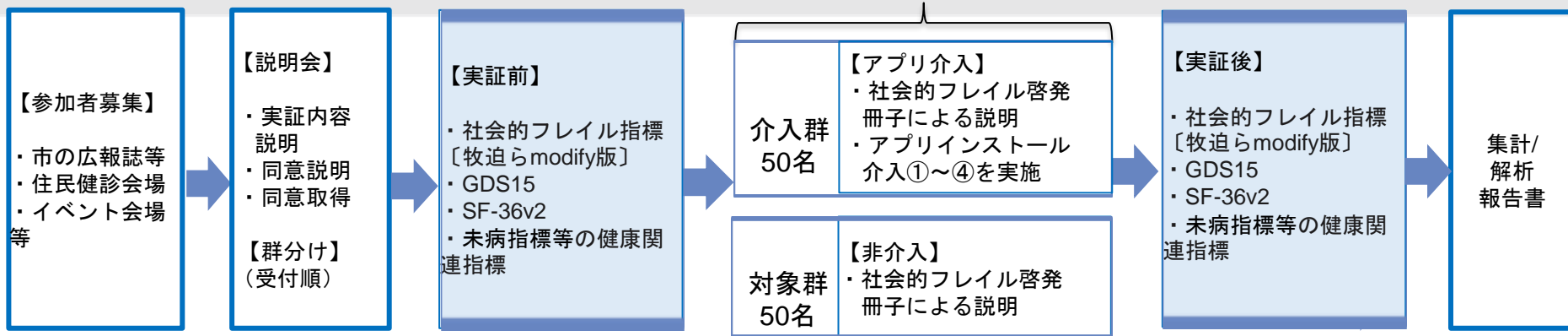
(5) 実証事業参加者：100名程度（予定）

- ・ 65歳以上の方
- ・ スマートフォンアプリケーションが利用可能な方



【実証概要図】

令和7年12月15日時点



(6) 実施内容：

項目	内容
参加募集者	本実証事業への参加にあたり十分な説明を受け、本人の自由意思により文書による同意を得る。
参加対象者	○スマートフォンアプリケーションが利用可能な65歳以上の方 (※本実証事業の障害となる疾患を有する方を除外する。)
実施方法 (介入)	社会的フレイル啓発冊子による説明、「おしるこ」アプリのインストール及びログインを行い、以下の内容でアプリを利用してもらう。 ① 社会的フレイル啓発コンテンツの定期配信 週1回「CSからのPush通知」配信（行動リマインド&励まし） シニアの趣味と活動を認め、コミュニティの繋がりを深めるバッジプログラム参加 ② AIによる会話サポートを通じた継続的な交流促進 週3回以上ノルマ ③ 利用者同士の交流促進（コメント・投稿） 週1回の「日記投稿」＋週1回の「他者へのコメント投稿」 ④ リアルな場との連携（参加型イベント、ウォーキング等） 週1回の「趣味グループ」への参加リマインド
評価項目	○主要評価項目：社会的フレイル指標〔牧迫らmodify版〕の変化量 ○副次的評価項目：GDS15、SF36v2、医療経済性評価、未病指標等
評価	○開始時、終了時の変化を評価する。